

8・9月の月間目標

暑い日が続きますので水分や塩分の摂取を！
 (毎日、熱中症チェックをしてください。20号に掲載)

重点箇所：清掃道具（モップや手袋、カート他）、制服、汗拭きタオル、ほか

ニオイが発生しないよう嚴重な注意を。

今年は、たいへんな暑さで、毎日のように熱中症のニュースを聞かれると思います。「自分は大丈夫」と、過信は禁物です。くれぐれも注意し、温度が32℃を超えてくる暑さには、30分に1度は水分・塩分の摂取をお願いします。また、清掃道具など暑さに湿度が加わると、とんでもないニオイが発生するので要注意です！まだまだ暑さ厳しい折、ご自愛ください。



「プロ」としての意識を高めるために行動しよう！

質問・ご意見は 広報グループ 横田・斉藤まで ☎075-863-0588

JBMA 第4回 ビルメン 子ども絵画コンクール

募集要項

募集テーマ 「未来のおそうじ—きれいにしよう、私たちの環境を—」

募集作品 「未来のおそうじ—きれいにしよう、私たちの環境を—」をテーマにした絵画

しめきり 平成22年 9月17日(金) ※当日消印有効(とうじつけしんゆうこう)

応募点数 1人1点

大きさ 八つ切りの画用紙(27cm×38cm) ※大きさが違う場合、審査の対象からはずれる場合がありますのでご注意ください。

表現材料 えのく、くれよん、色鉛筆、カラーペンなど (但し、蛍光ペンや、折り紙や毛糸など立体物の使用は不可とします。)

応募部門	幼児0～4才部門	小学生1～2年生部門
	幼児5～6才部門	小学生3～4年生部門
		小学生5～6年生部門

発表

入選者 平成22年11月24日(水) 10:00頃 当協会ホームページ(http://www.j-bma.or.jp/concours_top)にて発表します。また、協会機関誌「月刊ビルメンメンテナンス」などでも発表します。

キッズニア当選者 当選の発表はチケットの発送をもってかえさせていただきます。発送後は当協会ホームページ(http://www.j-bma.or.jp/concours_top)にてお知らせします。※発送は10月中旬の予定です。当選した団体のご担当者様にキッズニア招待券を発送いたします。

表彰式 平成22年11月26日(金) 19:00～22:00まで ビルメン・キッズデー (キッズニア東京/東京都江東区豊洲) ※上位入賞者の表彰式を予定しております。後日、該当者には団体の担当者を通じてご連絡いたします。

作品展示 ビルメン・キッズデー 平成22年11月26日(金) 19:00～22:00まで(キッズニア東京/東京都江東区豊洲) 平成22年12月9日(木) 17:00～21:00まで(キッズニア甲子園/兵庫県西宮市甲子園) 但し、キッズニア当選者並びに表彰式招待者(キッズニア東京)のみ、ご参加いただけます。

ご応募お待ちしております！

ヒヤリハット NEWS

事例1 警備スタッフが熱中症に…

日本全国厳しい暑さのなか、北近畿地区の警備業務をしていた社員が、過酷な業務であることを本人も自覚されていたにもかかわらず、突然熱中症になった。幸い点滴と休養により回復しているが、同じことを繰り返さないように、時間経過とともに検証する。




発生場所：駐車場
 発生時間：午前8時30分
 職種：警備
 性別：男
 年齢：53歳
 発生状況：駐車場付近の横断歩道で誘導していた。帽子着用し、7:30から立ちっぱなしで作業。

1. 業務開始1時間後、数回めまいがおきる。
2. 業務開始2時間後、気分が悪くなり救急外来で診察してもらう。
3. 当日のみ点滴治療を行い、7日間休業後、8日目に出勤。
4. 改善方法として、パラソルをたて、誘導時以外は傘下で待機。水分補給等していたが、また気分が悪くなり、再度熱中症になる。

個人の体力や持病等の有無により、回復度も違ってきます。普段から健康管理に心がけ、勤務に入る前には、自分の体調をしっかりチェックして、業務にあたってください。

事例2 滑りやすいトイレでの転倒事故…

トイレの清掃時または業務中には、いつも長靴か上履き靴を装着して行動していたのに、事故を起こした日だけトイレに常用されている下駄を履いてしまい、すべると認識はあったものの、バランスを崩し一瞬で転倒。慌てていたわけでもなかったのにいつもと違う行動をとってしまい、転倒事故に至った。



発生場所：トイレ
 発生時間：午前9時50分
 職種：清掃
 性別：女
 年齢：60歳
 発生状況：トイレの手洗所に置いている吸殻缶を処理し、次の作業に移るとき。

1. 吸殻缶を処理するために、床がタイル貼りのトイレに、つい置いてある下駄を履いて入室。
2. 下駄のまま吸殻缶を処理し、窓をあける。
3. 体の向きを変えて次の作業をしようとしたら、右足が後ろにすべり、体の右側から転倒。右顔面を強打と右ひざ打撲を負ったが、比較的軽症で治まった。

決められた安全用具の着用の徹底と事前に危険と思われる場所や状況等しっかり認識し意識するよう、現場全員の改善教育を行いました。

事例3 清掃準備時の転倒事故…

フラワークリーンを使用するために倉庫内で準備中、先端のフラワーを付け換えようと棒を棚に立てかけていたところ、棒がすべり始め、そこへ他の清掃員が急いでいたのか足を引っ掛けて転倒する。右ひざ複合靭帯損傷で2日間休業する。



この件では、お互い気をつけて行動しようとして注意しあったようですが、現場ではよくありそうな風景だと思います。みなさんはどのように考えられますか？ご意見をお寄せください！